

家族と地域のちからを神戸の未来へ

神戸市会議員

平木ひろみ

Think globally
Act locally



平成31年度予算

神戸の新たな未来を切り拓く施策を積極的に展開します。

- ① 輝く子どもたちの未来を創る
- ② 健康・安全を守る
- ③ 街と地域を創る
- ④ 神戸経済を伸ばす
- ⑤ 陸・海・空の拠点を創る
- ⑥ 市政改革を進める

若者に選ばれるまち+誰もが活躍するまち

子育てしやすいまち神戸



妊娠・出産から子育ての各ライフステージに応じた切れ目のない支援を整備することは、暮らしの質の向上に加え、地域活動を支える人材を育て、将来に神戸の活力を維持していくためには欠かせません。

今年10月から3歳から5歳までの幼児教育・保育の無償化を実施し、0歳から2歳は市民税非課税世帯について、保育料が実質無料になります。保育枠の拡大に継続して取り組むとともに、保育士の待遇改善、病児保育・学童保育施設整備を充実させます。

認知症の人にやさしいまち神戸

神戸市では、認知症になつても住み慣れた地域で安心して過ごすことができる「認知症の人にやさしいまちづくり」を推進していくために条例を制定し、全国初の認知症「神戸モデル」を進めます。すでに今年1月から診断助成制度をスタートしましたが、4月からは新たに認知症高齢者が起こした事故に関する自己救済制度も開始します。患者や家族の生活相談のために、認知症疾患医療センターに専門医療窓口を設置するなど、認知症施策を強化します。

認知症の人への対応の心得

～3つの「ない」～

- ① 驚かせない
- ② 急がせない
- ③ 自尊心を傷つけない

神戸をさらなる高みに押し上げるまちづくり

神戸経済の安定した成長を通して、市民生活が豊かになったと実感を持つことができるためには、時代にあったニーズを踏まえた都市基盤の構築が必要です。

神戸港のさらなる機能強化、大阪湾岸道路西伸部の整備促進などの広域交通イン



フラの整備に加え、官民連携による三宮駅前再整備の事業化を進めます。

2021年度に新中央区総合庁舎と東遊園地北側再整備が完成することを皮切りに、続々整備される各事業の基本計画が今年度中に策定される予定です。

よこはた和幸さんを
ご紹介いたします

現場第一主義で、一市民としての実感を大切にしてきた私の想いを受け、中央区を「住み続けたい」まちにするためよこはた和幸さんは活動しています。
詳しい経歴等は、討議資料をご覧ください。



日本で生活する外国人家庭の日本語習得

母国を離れて異国で生活するというのは、家族にとって大変なことです。生活する国の言語を習得することができれば生活の質が向上することは間違いかりません。

神戸市では、来日すぐの外国人児童生徒に、母国語を理解するサポートが寄り添っています。しかし、ご両親の日本語習得は日常生活を豊かにするために必要不可欠です。神戸国際協力交流センターにおいて、無料で個人の能力に合わせたマンツーマン指導を受けることができます。

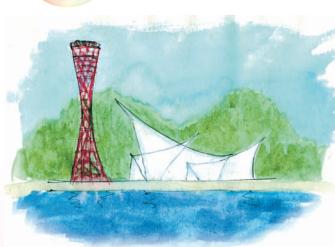


「看取りの質」が問われる時代

2018年度診療報酬改定の中に「国民の希望に応じた看取りの推進」が初めて盛り込まれ、介護報酬改定でも「本人の希望する場所での、その状態の応じた医療・介護と看取りの実施や、関係者間の円滑な情報共有とそれを踏まえた対応を推進」と明示されました。

死をどう迎えるかについて家族で前もって話すことは縁起の悪いことではなく、自分の希望をちゃんと伝えておくことで納得できる最期のあり方を共有できることは、質の高い看取りにつながると思います。

市民の声、 家庭の声を 市政に



住み続けたい まちづくり

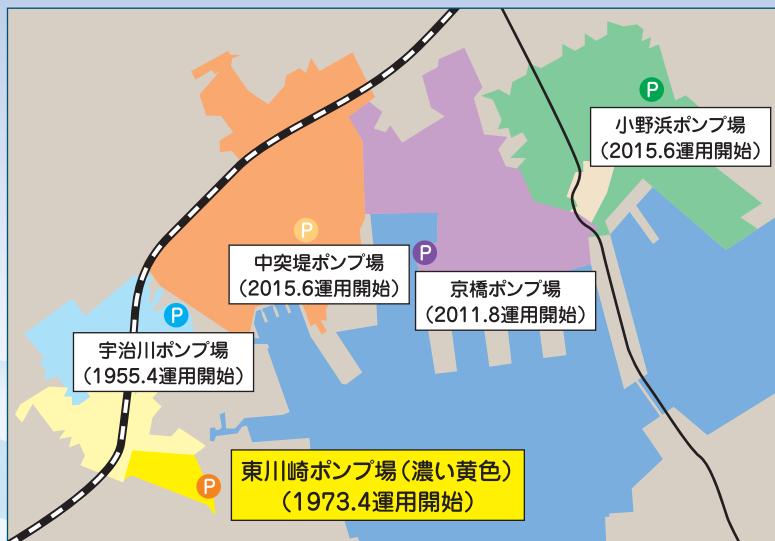


がんとともに生きる

がん患者のうち、治療を始めて半年以内に退職する人が60%に達するそうです。安心して治療を続けられるような職場環境や休職制度整備を企業に求めるとともに、従業員が休職している間に代替要員を雇う支援をすることもできるはずです。また、治療の副作用で外見(アピアランス)が変わってしまうと、患者のモティベーションが下がり、治療効果も下がるという報告もあります。抗がん剤の副作用で脱毛した患者に対するウィッグ購入助成を始めた自治体もあります。神戸市が「がんとともに生きる」市民を応援できる市であってほしいと願います。



神戸駅周辺地区の浸水対策



2004年には台風のたびに三宮南の国道2号線一帯が浸水し、都市機能を麻痺させました。これを機に防潮堤の整備とともに、約10年、281億円をかけて3ポンプ場が整備されました。この高性能のポンプ場整備のおかげで、三宮南地区では昨年ほとんど浸水被害はありませんでした。

一方、東川崎町、神戸駅周辺地区では台風21号によって広範囲で浸水被害が発生しました。防潮堤と鉄扉によって海水流入はおおむね抑えることができたものの、潮位上昇により雨水幹線に海水が逆流して雨水が流れにくくなり、地盤の低い場所に水が集まったため被害が発生しました。地域全体の雨水の流域と水路の見直しをし、新たなポンプ場や雨水幹線の整備を進めよう強く求めました。